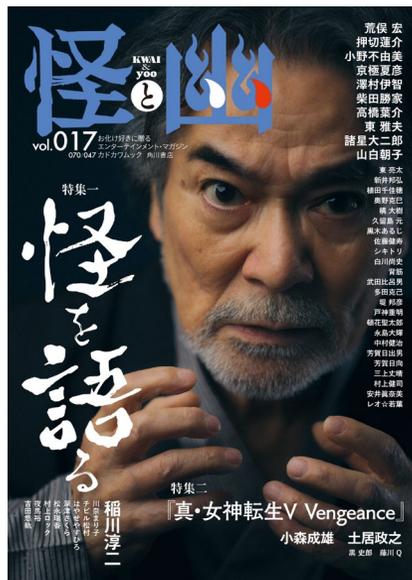




※vol.018の表紙画像



※vol.017の表紙画像

**妖怪マガジン『怪』と怪談専門誌『幽』が劇的に合体！！  
すべてのお化け好きに贈る、エンターテインメントマガジン**

## 怪と幽

**妖**怪マガジン「怪」と怪談専門誌「幽」。「妖怪」と「怪談」という、似て非なるコンセプトを打ち出したふたつの雑誌が「怪と幽」に生まれ変わりました。「怪」「幽」両誌のブランドを受け継ぐと同時に、よりエンタメ性に軸を置いた「怪と幽」独自の特集と強力な連載陣、そして、お化け関連の周辺情報なども掲載し、お化け好きの読者に贈るエンターテインメント・マガジンを目指します！

### ＜料金表＞ 入稿日(完全データ入稿)：発売日約30日前

広告スペース	原稿サイズ 天地×左右(mm)	印刷	料金 (税抜)	申込日	入稿日
表4	165×138	4cオフ	500,000円	3月25日	4月1日
表3	210×148	4cオフ	300,000円	同	同
中面	210×148	1cオフ	150,000円	同	同
縦1/3頁	182×36.5	1cオフ	50,000円	同	同

### ＜媒体データ＞

【発売日】年3回(4月、8月、12月)  
 【予価】2000円(税別) 【判型】A5判  
 【創刊】2019年4月24日  
 【想定男女比】男性40%：女性60%  
 【発行部数】20,000部

■vol.019 2025年4月28日発売号ご案内 表紙：《荒俣宏×帝都物語》丸尾末広 描き下ろし（特集連動）

## 特集 アラマタ伝 ～帝都物語40周年～

2025年は「帝都物語」シリーズ第1巻『帝都物語 1 神霊篇』が刊行されてから40周年。記念して、「帝都物語」と荒俣宏さんについて特集いたします。「帝都物語」シリーズが生み出したエッセンスは、その後の日本のサブカルチャーに大きな影響を与えました。今もなお与え続けているといっても過言ではありません。小説・映画の「帝都物語」を入り口に、今年喜寿を迎えられた荒俣宏さんの功績、歴史を振り返りながら、今後の荒俣さんの新たな創作活動についても掘り下げます。

【対談】荒俣 宏×佐野史郎 映画「帝都物語」で出会った親交の深いお二人が、その以前からの因縁も含めじっくり語り合います。

【寄稿】「帝都物語」作品ガイド 峰守ひろかず 【インタビュー】OVA（オリジナルビデオアニメ）「帝都物語」監督・りんたろう

【寄稿】「帝都・伝奇・退魔の遺伝子」荻堂 顕、柴田勝家 【インタビュー】「神田明神と『帝都物語』」 禰宜・岸川雅範

【寄稿】荒俣宏書き下ろし「幻の帝都物語 最終話」 【年表】荒俣宏年表 伏屋 究

【寄稿】「私は見た！ アラマタ伝説」

あがた森魚、大竹真由、風間賢二、鹿島 茂、京極夏彦、鴻上尚史、小松和彦、坂上治郎、下中美都、野村芳夫、藤森照信、横尾忠則

【インタビュー】荒俣 宏 ロングインタビュー 【案内】荒俣所蔵本大放

◆そのほか連載、定例コーナー多数

【小説】京極夏彦、小野不由美、有栖川有栖、山白朝子、澤村伊智 【漫画】諸星大二郎、高橋葉介、押切蓮介 【論考・エッセイ】東 雅夫

【グラビア】MON、芳賀日出男、佐藤健寿、怪食巡礼 【怪談実話】ねこや堂、蛙坂須美、木根緋郷

◆対談、インタビュー、寄稿など ファントムシータ、小林千晃×梅田修一郎（『光が死んだ夏』アニメ）、鈴木光司×竹内 薫（『ユビキタス』）、梨×かあなつき×加藤よしき（『禍話n』）、真山隼人・沢村さくら（「巷説百物語」浪曲化）、クリハラタカシ、好井まさお、と金、神野知恵、柳生忠平（妖怪万博2025）、桜井伸也（怪談図書館）、堤 邦彦 etc…